

ICT普及啓発事業
ICT利活用促進事業

特定非営利活動法人
シニアネット佐賀

事業の目的

らくらくスマホ講座

1. シニアの現状

* インターネットの利用により、SNSなどコミュニケーションツールも増加傾向にあるが、その利用リスクについて自覚がない。

2. 安心・安全を求めて(高齢者ICT教育)

- ① スマホの利活用促進を図る
- ② キャッシュレス化への対応
- ③ キャッシュレス化、インターネット活用でのリスク管理としてのセキュリティ対策

ICT利活用促進助成事業開催場所

開催時期	開催場所	開催時間	講座	受講者数 (延べ)
9月28/29日 11月12/13日	唐津市都市コミュニティセンター	4h 4h	らくらくスマホ体験	18名 22名
11月26/27日	唐津市相知交流センター	4h	らくらくスマホ体験	24名
12月1/2日	江北町ネイブル	4h	らくらくスマホ体験	12名
1月14/15日	佐賀市兵庫町公民館	4h	らくらくスマホ体験	20名
9月12日 10月10日 11月7日 12月12日 1月16日	佐賀市商工ビル 佐賀市アバンセ	10h 各日2h	らくらくスマホ体験	65名
	6会場 15日開催	30h		161名

主な講座内容

- ①電話・写真・動画・地図・LINE
- ②スマホの設定
(設定アプリの操作・無線LAN設定など)
- ③写真・動画のデータ管理(PCへの取込みと管理)
- ④キャッシュレス化への対応
(アプリの紹介・利用方法等)
- ⑤インターネット検索(その仕組みとリスク管理)
- ⑥セキュリティ対策(詐欺・対応策)
- ⑦その他
(持ち込みスマホの操作 個別相談)

講座風景「らくらくスマホ講座」



唐津市都市コミュニティセンター 2回開催

講座風景「らくらくスマホ講座」



唐津市都市交流センター



江北町ネイブル

講座風景「らくらくスマホ講座」



佐賀市兵庫公民館



佐賀市商工ビル

アンケートより

受講者層	受講者年齢層 (人数)	無線 LAN	受講者の意見
男性:(26) 38%	50代(0) 0%	有 72%	スマホの買い方が良く解らない? (何を基準にするか?機種・料金)
女性:(42) 62%	60代(12) 18%	無 28%	アプリの内容が良く解らない? (使い方?利用目的)
	70代(47) 69%		スマホの設定が良く解らない? (設定アプリの内容・機種での違い)
	80代(9) 13%		写真・動画のデータ管理 (PCへの保存・機種での違い)

広報活動

* 開催会場

- * 唐津市相知交流センター
- * 唐津市都市交流センター
- * 江北町ネイブル
- * 佐賀市兵庫公民館
- * 佐賀市商工ビル
- * 佐賀市アバンセ(会場変更)

広報手段

- 唐津市広報誌
- 唐津市広報誌
- ネイブル広報誌
- 兵庫公民館広報誌
- 佐賀市商工ビル掲示
- 佐賀市商工ビル掲示

ICT普及活動の課題

1. 県内の現状

高齢者のICT利用は個人、民間に委ねられているため機器操作の問題点も多く、インターネット利用によるトラブルも増加傾向にある中で行政の高齢者に対するICT教育に関する意識が乏しい。

2. 普及活動での課題

- ①受講者が求める学習ニーズの多様化への対応
- ②受講者スマホ機種が多様化
- ③講座開催における費用対効果が望めない場合がある
- ④講師のスキルアップ講習会の必要性
(スマホの機種が多く、アプリ単位での設定も多様である)
(ネット犯罪への研修対応、セキュリティ対策)

対 策 (これから)

1. 情報格差をなくす

広報活動でのICT利活用助成事業の必要性

高齢者ICT教育支援の必要性（行政）

2. 普及活動

市町公民館・コミュニティへの推進活動

3. 広報活動

推進協議会助成事業を活用（チラシ等）

4. インフラ整備

行政へICT利活用事業の理解協力要請